

ミニトマトを露地でつくる「ソバージュ栽培[®]」

技術の概要

ミニトマトを露地で栽培できる「ソバージュ栽培」は、誰でも容易に取り組める簡単な栽培方法です。

1 差別化できる「ロッソナポリタン」

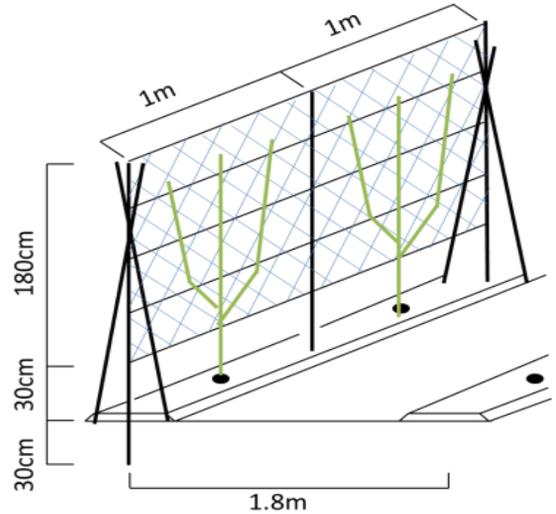
- ・収穫の際、へたがとれるので収穫が楽。
裂果の発生が少なく収穫のむだがない。「ソバージュ栽培」に適している。
- ・果実糖度、総アミノ酸含量(3%)が高く、また、日持ちが良く、生食にも調理にも向いている。

2 低コストで省力栽培

- ・整枝は主枝3本を誘引した後は放任とし、つる下げ、わき芽かきが不要で労働時間は雨よけミニトマトの2/3。
- ・主な資材は単管、イボ竹、キュウリネット
- ・ネットを直立に張ることにより作業が軽労化。

3 無理なく収穫できる

- ・5/下、6/下の2回に分けて定植
⇒収穫作業の平準化



支柱・ネットの設置と枝の誘引方法



「ソバージュ栽培」の状況と品種「ロッソナポリタン」

期待される効果

- 省力的な栽培方法として初心者でも簡単に取り組みます。初期投資は少なく済みます。
- 露地栽培でも一定収量を確保できます。(H27、28年 平均:4.7t/10a) 売上げが200万円以上、100万円程度の所得が見込めます。
- 産直販売や観光農園でのもぎ取り体験等に向いています。

※「ソバージュ栽培[®]」はパイオニアエコサイエンス(株)の商標登録です。

【お問い合わせ先】

岩手県農業研究センター技術部野菜花き研究室 〒024-0003 北上市成田20-1 TEL0197-68-4420

当該技術は農林水産省委託事業「食料生産地域再生のための先端技術展開事業」の成果です。